

2012年7月12日

日 EU 経済統合協定の推進に関する英 Intellect との共同声明

インテレクトと JEITA は日本と UK の IT エレクトロニクス業界を代表し、日 EU 経済統合協定 (EIA) 交渉の開始を強く求めていることをここに表明する。

これまで UK と日本の IT エレクトロニクス業界は様々な分野で協力関係を構築してきた。

- 例えば、日本企業は英国で 13 万人以上を雇用している。一方、EU 加盟国の中で最大の対日投資国の一つである。ICT 産業は雇用や投資に非常に大きなインパクトを与える。
- グリーン IT の分野では、日欧米が協力して、データセンター全体のエネルギー効率を表す指標である DPPE(Datacenter Performance Per Energy) の国際標準化活動を推進してきている。中でも、日本では JEITA が、欧州では Intellect がリードして、エネルギー効率性の高いデータセンターの普及促進に取り組んでいる。
- また、IT サービスマネジメント分野では、英国商務省が作成した世界的情報システムの運用管理基準である ITIL (IT Infrastructure Library) を参照しながら、JEITA では SLA (Service Level Agreement) ガイドラインを策定し、日本での IT サービスマネジメントの普及に努めている。
- 公共調達分野の開放は日英の IT 企業などに大きな機会を提供するものである。

欧州危機をはじめ世界経済をゆるがす様々な事象がある中で、世界経済の持続的発展を図るためには、世界が内向きに閉じこもることなく、ますますオープンになって物財を分かち合っていくことが重要である。

上述のような IT エレクトロニクス分野での協力関係に限らず、他の分野も含め、UK と日本は共に自由貿易により世界を先導し、高い技術力を有し、価値観を共有する重要なパートナーである。その協力関係を強化することにより、新たな付加価値を生み出し、イノベーションを起こすことが可能である。

日本と EU との間で、関税、非関税を含め、貿易及び投資に関するあらゆる障害を撤廃するための包括的な経済連携の実現により、グローバルに展開している日 UK の IT エレクトロニクス産業の成長力をさらに高め、ひいては世界経済の成長にも貢献する。

かかる観点から、2011 年 11 月に、デジタルヨーロッパと JEITA との間で日 EU 経済統合協定の推進に関する共同声明をまとめたことは大変時機を得たものであり、インテレクトとしてもこの内容を強力に支持する。

インテレクトと JEITA は、今後両者の協力関係をより一層進展させ、強化させていくことを宣言する。そのためにも、EU・日本両国政府に対して、EIA の早期締結に向けて、その交渉を早急に開始することを強く求めるものである。